

# 脳卒中の先端治療は

## 公開講座 岡山大医師が解説

脳の血管が破れた生憲志岡山大病院准教授（詰まったりする脳の一環。開頭せず、卒中の血管内治療をテカテーテルを使って血管の中から治療・診断マにした公開講座が21日、岡山市北区駅元町、岡山コンベンションセンターであり、最先端の「切らずに治す」治療について、市民ら約130人が理解を深めた。

第31回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会（会長・杉

頸動脈狭窄症）をテ

6時間以内に血栓を取り除き、血流を再開できれば予後が格段に良

岡山大病院脳神経外科の医師3人が、くも膜下出血につながる脳動脈瘤▽急性期脳梗塞▽脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症

間に症状や治療法を解話の異常、発症時刻の英語の頭文字を取った標語「FAST」を紹介



脳卒中の血管内治療をテマにした公開講座  
「切らずに治す」として上で、発症を見つめるポイントとして顔のまひ、腕のまひ、会話のまひ、会

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。